

第2回協議会（勉強会）の概要について

- 1 日時
平成25年5月30日（木）16:00～17:00
- 2 出席者
松村佳子委員
花山院弘匡委員長職務代理
佐藤進委員
森本哲次委員
藤井宣夫委員
富岡將人教育長
- 3 テーマ
「道徳教育について～教育再生実行会議での議論」

4 協議内容

事務局が、道徳教育の教科化にかかる教育再生実行会議の議論について説明した。実行会議の第一次提言の中で、「いじめの問題等の本質的な解決のために道徳教育を充実させる必要があるが、現在の道徳教育は学校や教員によって充実に差があり所期の目的が十分に果たされていない。そのため、道徳を新たな枠組みにより教科化する」と言及されていると報告した。また、提言を受け、下村文相は、道徳教育の教科化に向けて、有識者会議を設置し、具体的な内容について議論を始めていると報告した。

報告を受け、道徳教育の教科化が提言されている理由について、委員から「道徳という言葉の捉え方が人によって異なっており、現行では統一した指導がしにくいから」「規範意識が低下しているとの社会全体の危機感から」等の意見や「道徳教育といじめの関連を、数値的なデータでも実証すべきである」等の意見が出された。

今後の取組について、委員から「本年度から高校で実施している『奈良TIME』も効果的ではないか」との意見が出され、事務局からは、現在小中学校では、道徳教育の教材として「奈良県郷土資料」を作成し、指導事例集とともに活用しているとの説明があった。また、「小学校低学年からしっかりと道徳を教えることが大切」「相手の痛みがわかるようになることが大切」「学校だけにまかせるのではなく、家庭や地域と共に取り組む必要がある」等の意見が出され、今後も、地域と共に郷土資料等の教材を開発したり、地域の行事を活用したりしながら、子どもたちの規範意識の醸成に取り組んでいくことの重要性について共通理解した。

次回は7月11日（木）の予定で、教育再生実行会議の第三次提言に盛り込まれた外国語教育の方向性について議論を深めることにする。